

# 自動車工コ整備に関する調査検討会報告書（概要）

## 1. 調査の目的・内容

本調査検討会は、自動車の点検整備における CO<sub>2</sub> 排出量の削減効果を具体的に把握することを目的とし、「点検整備の実施による CO<sub>2</sub> 削減の効果」の検証及び「整備事業場における CO<sub>2</sub> 削減の取り組み」の把握の2つの項目に分けて調査し、検討を行った。

## 2. 調査結果

### ○ 点検整備の実施による CO<sub>2</sub> 削減の効果

点検整備項目のうち、CO<sub>2</sub> 削減効果の期待されるエンジン・オイル及びオイル・フィルタ交換、エア・クリーナ・エレメント交換、タイヤ空気圧調整の3項目を実施することで、2%程度の燃費改善効果が確認され、CO<sub>2</sub> 削減効果も同様と考えることができる。

### ○ 整備事業場における CO<sub>2</sub> 削減の取り組み

自動車整備業界において自主的に策定された「地球温暖化防止推進マニュアル<sup>\*</sup>」にあるような取り組みの実態を、具体的に検証することにより、実際に事業場の CO<sub>2</sub> 排出量が削減され、光熱費の節約にも繋がっている状況が確認された。

<sup>\*</sup> 社団法人日本自動車整備振興会連合会 平成21年5月策定

## 3. 今後の課題

本調査において一定の成果を得ることができたことから、地球温暖化の防止を図っていくためには、本調査検討会の成果を如何に有効に活用していくかが課題となる。

なお、考えられる活用方策は以下のとおり。

### ○ 自動車ユーザーへの啓発

- ・ 本調査結果等の自動車ユーザーへの周知
- ・ 国土交通省と自動車関係団体が行う「自動車点検整備推進運動」における取り組み

### ○ 自動車整備業場への CO<sub>2</sub> 削減対策の普及促進

- ・ 「地球温暖化防止推進マニュアル」のさらなる普及啓発